

ふりがな	わたなべ かつ
	大阪外国語大学

学位	外国語学士【1981年 大阪外国語大学】 文学修士【1983年 大阪大学】 博士（言語文化学）【2017年 大阪大学】
研究分野	現代アメリカ文学、アメリカ文化、英語圏文学・文化、批評理論、メディア・文化表象研究
研究テーマ	ポストヒューマン文学における異種混雑とデモクラシー—アクトーネットワークの生成 ドン・デリーロ、リチャード・P・ワーズ、マーガレット・アトウッド研究



Parsons, Richard, 113

				20日			
『怪れ動く（保守）—現代アメリカ文学と社会』	共		2018年9月13日	専攻社		山口和彦・中谷実編、第10章「鳴き続ける水濠—ドン・デリーロの『ゼロK』における『生命の保守』」、pp. 275-307.	
『アメリカ文学における幸福の追求とその方法』	共		2018年2月28日	南雲堂		貞志雄之編、第18章「幸福」のちちる解—リチャード・ローゼの『幸福の遺伝子(ジェネロシティ)』に見る増殖と遺伝力」、pp. 352-370.	
『災害の物語学』	共		2014年5月1日	世界思想社		貞志雄之編、第18章「幸福」のちちる解—リチャード・ローゼの『幸福の遺伝子(ジェネロシティ)』に見る増殖と遺伝力」、pp. 352-370.	中良子編、第3章「噴火・地震、生成—『火山の恋人』における歴史の創造/想像(ポイエシス)」、pp. 74-101.
『アメリカン・ロード先と海のネットワーク』	共		2013年11月25日	英宝社		花岡秀徳、第10章「シネマの旅路の果て—ドン・デリーロの『モの哀々人』における『読者のイメージ』」、pp. 201-224.	
『ヘミングウェイ大辞典』			2012年7月21日	鶴城出版		今村慎夫・島村浩夫監修、p. 765, pp. 767-769, pp. 773-774.	
『異境の時空間—アメリカ文学とユートピア』	共		2011年5月10日	英宝社		大井浩二監修、根柢孝子・柳井伸子・高橋直・村上聡博編、第19章「時の砂漠—風景思考の『ポインツ・オブ・ビュー』」、pp. 310-333.	
『20世紀アメリカ文学のポリティクス』	共		2010年6月10日	世界思想社		貞志雄之編、第7章「ホプズワートより愛をこめて—『四人のジェンマ』からフェリーダス・メモリーへ」、pp. 215-247.	
『アメリカ文学研究のニュー・フロンティア—資料・批評・歴史』	共		2009年10月20日	南雲堂		田中久男監修、亀井俊介・平石貴樹編、第14章「散北の『鬼イット』—アンダーワールドにおける名づけるのアポリア」、pp. 281-292, pp. 351-354.	
『メディアと文学が象徴するアメリカ』			2009年10月20日	英宝社		山下真樹、第7章「9.11と『灰』のエクリチュール—『フォーリングマン』における“notes”の亡霊」、pp. 166-192.	
『神話のスパイラル—アメリカ文学と神』	共		2007年3月15日	英宝社		花岡秀徳、第5章「蘇る神話—デリーロ文学の神道」、pp. 185-242.	
『20世紀アメリカ文学を学ぶ人のために』	共		2006年10月10日	世界思想社		山下真・濱邊亮昭編、第5章「ポストモダン文学の読解—『悪い時計の影』をめぐって」、pp. 68-82.	
『ポストコロニアル文学の現在』	共		2004年6月10日	晃洋書房		木村茂雄編、第4章1節「マカレット—アットウッド『侍女の物語』—『植民地』化される女」、「マイケル・オンドツェの『イギリス人の患者』」、pp. 123-134.	
『病と身体の英米文学』	共		2004年5月20日	英宝社		玉井博・仙臺豊編、第5章「『差異』という病—『家業』の『コスモポリス』横断」、pp. 86-108.	
『身体、ジェンダー、エスニシティ—21世紀転換期アメリカ文学における身体』	共		2003年9月5日	英宝社		鶴川卓雄・伊藤真基編、第4章「メディア、ジェンダー、パロディ—『ディ・アイニティ』における時と消滅の接近」、pp. 117-143.	
『共和国の旗り—アメリカ文学のグライミズム』			2003年6月20日	英宝社		大井浩二監修、花岡秀・貞志雄之・濱邊亮昭編、第10章「神話から自然の神まで—『神話会へ向かう三人の患者』における死と複製のウィジョン」、pp. 177-190.	
『冷戦とアメリカ文学—21世紀からの再検証』	共		2001年9月20日	世界思想社		山下真樹、第13章「魔物のアワラと世紀末—対峙せらるる冷戦の『アンダーワールド』」、pp. 329-361.	
『藤井治彦先生追憶記念論文集』	共		2000年2月25日	英宝社		藤井治彦編、第60章「『群衆』の時代と小説家の肖像—Mao IIにおける死とメディアの神話学」、pp. 837-850.	
『自己実現とアメリカ文学』	共		1998年5月10日	晃洋書房		野田哲司編、第10章「ノイズから『メディア』、ノイズ—『花びら』と交わるころ」、pp. 174-194.	
『世界地理学への招待』	共		1998年1月25日	雄松野書院		池田修編、Part 4「テクニクとしてのアメリカを読む」、pp. 321-334.	
『空想と英米文学』	共		1987年12月15日	英宝社		藤井治彦編、第10章「想像、火葬場、天文台—『学生部長の二月』の構造」、pp. 246-270.	
翻訳：ソール・ベロー著『燃え尽く』『ソール・ベロー—傑作短編集』の収			2025年12月25日	小島道書房		pp. 61-107.	
翻訳：ドン・デリーロ著『Mao II』	単		2020年4月28日	本の友社		pp. 1-304.	
翻訳：ドン・デリーロ著『アメリカ人であることの不思議』、ドン・デリーロへのインタビュー			2020年3月30日	『世界文学』第5号、大阪外国語大学		pp. 359-66.	
翻訳：エモリー・エリオット編『コロニア米文学史』	共		1997年1月10日	山口書店		pp. 65-76.	
翻訳：ウェイン・ブース著『フィクションの修辭学』	共		1991年2月25日	書肆屋の書庫		米本弘一・藤原典之と共訳、pp. 337-484, pp. 515-531.	

学術論文						
題名	単・共	発行・発表日	発行雑誌又は発行学会等の名称	備考		
「すべては『関係性』によって繋がっている—後期デリーロにおける量子論的世界観」	単	2025年3月31日	Artes MUNDI第10号、名古屋外国語大学ワールドリベラルアーツセクター	pp. 163-178.		
『躍動する無限「ホテル」の壁の奥—『ウェー・ラン』におけるアクターネットワークの生成と変化』	単	2023年2月28日	『英米研究』第47号、大阪大学英米学会	pp. 1-19.		
「アメリカン・デモクラシーの逆説とそのゆくえ—Mao IIとThe Silenceにおける自己免疫と来るべき『未来』」	単	2022年3月31日	『英米研究』第46号、大阪大学英米学会	pp. 1-26.		
「遺伝子のデザイン、記憶のデザイン—『オリクスとクワイ』における真実の代理「神」、スノーマン」	単	2021年3月31日	『英米研究』第45号、大阪大学英米学会	pp. 39-64.		
「蘇るポストヒューマン・バトルビードン・デリーロの『ボディ・アーティスト』を導きの糸として」	単	2020年3月31日	『英米研究』第44号、大阪大学英米学会	pp. 29-57.		
「ポストヒューマン・デザインの地平—プラトンの『オリジシ』におけるAIと「かくわしき科学」のゆくえ」	単	2019年3月31日	『英米研究』第43号、大阪大学英米学会	pp. 31-59.		
「ドン・デリーロの懸念的想像力の場としての『Convergence』—『ゼロK』における「ポストヒューマン・ボディ」と「アース・アート」	単	2018年8月6日	『エコクリティシズム・レヴュー』第11号、エコクリティシズム研究会	pp. 1-13.		
「ドン・デリーロにおける（死）のデザイン—オリエンタルな意匠をめぐって」	単	2016年12月1日	AALA Journal 22号、アジア系アメリカ人学会	pp. 29-55.		
“Welcome to the Imploded Future: Don DeLillo’s Mao II Reconsidered in the Light of the September 11”	単	2016年6月30日	The Japanese Journal of American Studies第14号、アメリカ学会	pp. 69-85.		
「広告の創れた国で—ドン・デリーロのスペクタクルの日常」	単	2014年8月31日	『EX ORIENTE』第4号、大阪大学言語社会学会、雄松野書房	pp. 67-96.		
「ポストモダン・オズワルド、ポストモダン・アウラー—JFK暗殺とドン・デリーロの『ロブラ』」	単	1999年3月31日	『英米研究』第23号、大阪外国語大学英米学会	pp. 163-189.		
「書物からハイパーテキストへ—変容する『文学空間』」『大阪外国語大学内LAN利用の実態と今後』	単	1997年3月31日	大阪外国語大学内LAN利用の実態と今後、大阪外国語大学英米学会	pp. 131-135.		</

イクスの	

			20日		文学』	
「メディアの亡霊—9. 11と「反」のエクリチュール」	■	2007年10月14日	日本アメリカ文学会第46回全国大会シンポジウム：「共存する/交錯するメディアとアメリカ文学」		広島経済大学	
「幻想としてのアメリカフィクションが文化と交わるところ」	■	2005年11月12日	福島大学招待講演		福島大学	
「ドン・デリーロの『アンダーワールド』」	■	2004年11月6日	阪大英文学会第37回全国シンポジウム：「わたしが生きてゐる米文学のこの1冊」		大阪大学	
「新著櫻の—DeLillo文学の弾道」	■	2004年10月17日	日本アメリカ文学会第43回全国大会シンポジウム：「神話のスイーラル—アメリカ文学と」と題し		甲南大学	
「メディア、ジャンナー、パフォーマンス—The Body Artistにおける時と消滅の技法」	■	2001年12月15日	日本アメリカ文学会第45回関西支部大会フォーラム：「身体、ジャンナー、エッセイ—1990年代以降のアメリカ文学に見られる主体の変容」		立命館大学	
「廃物のアウラと世紀末—封じ込められざる冷戦のUnderworld」	■	2000年10月15日	日本アメリカ文学会第39回全国大会シンポジウム：「二つの世紀末—意識と表現」		同志社大学	
「時の砂漠—揺籃思考の『ポイント、オメガ』」	■	2010年11月6日	日本アメリカ文学会関西支部例会発表		京都女子大学	
「『群衆』の時代と小説家の肖像—Mao IIにおける死とメディアの神話学」	■	1999年10月17日	本アメリカ文学会第37回全国大会発表		広島女学院大学	
「ノイズから『ホワイト・ノイズ』へ—死がメディアと交わるところ」	■	1996年10月26日	阪大英文学会第29回大会発表		大阪大学	
「ドン・デリーロとステューヴ・エリクソン」	■	1995年12月9日	日本アメリカ文学会第39回関西支部大会フォーラム：「最近のアメリカ小説を考える」		立命館大学	
「Seul Bellowにおける雷と機軸と交—Humboldt's Giftを中心に」	■	1993年10月9日	日本アメリカ文学会第32回全国大会発表		弘前大学	
「ソール・ベロ—における老い」	■	1986年5月18日	日本英文学会第58回全国大会シンポジウム：「老いと文学」		関西学院大学	

主な教育上の業績

作成した教科書

教科書名 (対象講義名)	単・共	年月	備考
Adrian Beard著 The Language of Sport (「スポーツとことば」)	共	2000年1月10日	英宝社、田嶋尚子と共編注、pp. 71-83.
Michael Kowalewski著 Popular Classics of American	単	1993年1月10日	英宝社、編注、pp. 97-

David Lodge著The Art of Fiction

主な職務

活動事項	期開（年月）	活動機関名
高大連携：京都市立堀川高校生とのワークショップ・講演、「文化研究への招待」	2024年3月22 日	大阪大学
高大連携：京都市立堀川高校生とのワークショップ・講演、「国際文化への誘い」	2023年3月17 日	大阪大学

日本アメリカ文学会
日本英文学会

日本ソール・ヘ
中野市世田谷区

所属学会及び役員名	期間（年月）	備考
日本アメリカ文学学会幹事部長	2013年4月1日～2017年3月31日	
日本アメリカ文学会本部編集委員	2010年4月1日～2014年3月31日、2018年4月1日～2022年3月31日、2024年4月1日～現在	編集委員長：2020年4月1日～2022年3月31日

日本アメリカ文
日本アメリカ文
日本英文学会本

日本英文学会

日本ソール・ヘロ協会理事	2001年4月1日～現在	
大阪大学言語社会学会理事、編集委員	2007年10月1日～現在	

主な職歴

期間（年別）	事項	備考
1985年4月～1987年3月	大阪大学言語文化部助手	
1987年4月～1987年9月	大阪大学言語文化部専任講師	
1987年10月～1991年12月	大阪外国語大学外国語学部専任講師	
1990年4月～1991年3月	プリンストン大学英文科委員研究員	日米友好基金助成
1992年1月～2003年12月	大阪外国語大学外国語学部助教授	
2004年1月～2007年9月	大阪外国語大学外国語学部教授	
2007年10月～2022年3月	大阪大学大学院言語文化研究科異語圏計社会政策教授	

受賞者			
受賞事項	年月	備考	
日本アメリカ文学会第2回アメリカ文学会奨励賞	2017年10月14日		

基礎研究C、研究	
基礎研究C、研究	

基礎研究C、研究代表者	メリカン・サブライム」の表象と アワラの発現に関する研究」	大阪外国語大学	2004年3月31日
基礎研究C、研究代表者	「現代アメリカ文学におけるメ ディと死の断片」	大阪外国語大学	1997年4月1日～ 1999年3月31日
基礎研究C、研究分担者	「アメリカ文学におけるホレロ の空間の文化史」	龍谷大学	2019年4月1日～ 2023年3月31日
基礎研究C、研究分担者	「アメリカ文学と写真/ドキュメ ンタリーとのインタラクティブな 断片」に関する学際的研究」	京都産業大学	2009年4月1日～ 2012年3月31日

基礎研究C、研究分野者	意識の変容とメディアと研 係」
Faculty Development Program	プリンストン大学英文科客 員

主な担当科目と授業の

担当科目名	対象学部・学科
基礎ゼミⅠ	現代国際学部、現代英語学科
基礎ゼミⅡ	現代国際学部、現代英語学科
専門ゼミⅠ	現代国際学部、現代英語学科
専門ゼミⅡ	現代国際学部、現代英語学科
専門ゼミⅢ	現代国際学部、現代英語学科
アメリカ研究 A (基礎)	現代国際学部、現代英語学科
グローバル化時代の文学	現代国際学部、現代英語学科
Academic skillsⅠ	現代国際学部、現代英語学科